

平成21年度(2009年度)事業計画書

自 平成21年(2009年)4月 1日

至 平成22年(2010年)3月31日

藤原科学財団の平成21年度(2009年度)における事業としては、これまでと同様、「藤原賞の贈呈」と「藤原セミナーの開催」を計画し、さらに藤原賞50回を記念して 4月25日(土)に記念講演会を企画しております。

記

〔I〕 藤原賞の贈呈

わが国の科学技術の発展に卓越した貢献をした科学者を顕彰する

1) 受賞対象

自然科学分野に属する基礎科学および応用科学

2) 金額

総 額 20百万円

賞状・賞牌および研究助成金 (2件 1件当たり10百万円)

3) 推薦依頼先

国立・公立・私立の各大学、関係学会・協会、研究機関、ならびに個人宛

4) 推薦依頼状発送

平成21年(2009年)11月1日

5) 応募締切

平成22年(2010年)1月31日

6) 選考委員会

下記委員で構成された選考委員会と、総員15名からなる5つの分科会(数学・物理、化学、工学、生物・農学、医学)を設置して、受賞者を選考する。

委員長	杉 村 隆	国立がんセンター 名誉総長
常任委員	井 口 洋 夫	宇宙航空研究開発機構 顧問
	西 村 暹	国立大学法人 筑波大学 客員研究員
	末 松 安 晴	東京工業大学 名誉教授
	山 崎 敏 光	(財)仁科記念財団 理事長
主査委員	早 野 龍 五	東京大学大学院 理学系研究科 教授
	柴 崎 正 勝	東京大学大学院 薬学系研究科 科長 教授
	菱 田 公 一	慶應義塾大学 理工学部 教授
	吉 田 稔	理化学研究所 ケミカルゲノミクス研究グループ グループディレクター
	門 脇 孝	東京大学大学院 医学系研究科 教授

7) 受賞者の決定(平成20年度募集分に対する受賞者の決定)

平成21年(2009年)4月中旬

8) 藤原賞贈呈式(平成20年度募集分の受賞決定者に対する贈呈式)

平成21年(2009年)6月17日

東京 神田 学士会館

〔Ⅱ〕藤原セミナーの開催

広く科学者の研究に寄与するとともに、学問の国際交流を高めるため、わが国の科学者の主催する国際セミナーの開催を援助する。

1) 平成21年(2009年)セミナーの開催

平成21年(2009年)は次の予定で開催する。

セミナー名	「世界ネットワークによる重力波の観測」
開催責任者	黒田和明 東京大学宇宙線研究所 教授
開催期間	平成21年(2009年)5月27日～5月30日 4日間
開催場所	神奈川県 葉山町 湘南ビレッジセンター、 東京都 東京国際フォーラム
参加予定者	約100名
開催費用援助額	12百万円

2) 藤原セミナーの募集

平成22年(2010年)から平成23年(2011年)の間に開催を予定するセミナーについて、開催予定件数2件を次のとおり募集する。

(1) 対象分野	自然科学の全分野
(2) 応募資格	わが国の大学等学術研究機関に所属する常勤の研究者
(3) 開催対象期間	平成22年(2010年)1月1日 ～平成23年(2011年)12月31日
(4) 開催件数	2件
(5) 開催援助額	総額 24百万円 以内 (1件につき 12百万円以内)
(6) 応募開始	平成21年(2009年)4月1日
(7) 応募締切	平成21年(2009年)7月31日
(8) 選考	藤原セミナー委員会において選考 (藤原賞選考委員会 常任委員が兼任)
(9) 採択決定	平成21年(2009年)9月中

〔Ⅲ〕藤原賞50回記念講演会(主催 藤原科学財団、後援 文部科学省 読売新聞東京本社)

藤原賞50回、藤原科学財団50周年を機に若い人たちに科学の楽しさを知ってもらい、科学の裾野を広げ、将来の科学者を育てる一助とする。

1) 日時	2009年4月25日(土) 1:30 PM～4:50 PM
2) 場所	よみうりホール 東京都千代田区有楽町(収容人員1100名)
3) 統一テーマ	「科学する心を育む」
4) 講演会内容	
基調講演	飯島澄男氏(第48回藤原賞受賞者 名城大学大学院 教授 産業技術総合研究所ナノチューブ応用研究センター長) 「カーボンナノチューブのふしぎ」 岡田典弘氏(第47回藤原賞受賞者 東京工業大学大学院教授) 「哺乳類進化のなぞに迫る」
シャンソン	松本かずこ氏
パネルディスカッション	
テーマ	「研究者を目指す人たちへ」
パネリスト	新井紀子氏(国立情報学研究所情報社会相関研究系 教授) 東村博子氏(名古屋大学大学院生命農学研究科 准教授) 村山 斉氏(東京大学 数物連携宇宙研究機構 機構長)
コーディネーター	柴田文隆(読売新聞東京本社 科学部長)

以上